



ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,  
DAIDO CORPORATION HAS  
STEADILY GROWN BY PROVIDING  
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

環境技術  
実証事業  
ETV 環境省

ヒートアイランド対策技術分野  
実証番号 051-1321  
第三者機関が実証した  
性能を公開しています  
実証年度 H25  
[www.env.go.jp/policy/etv](http://www.env.go.jp/policy/etv)  
本ロゴマークは一定の基準に適合していることを  
認定したものではありません

遮熱塗料

遮熱効果 ★★★★★

目録購入品(1に於いて) 0.8~0.6 0.6~0.4 0.4>

一般社団法人 日本塗料工業会

(マイルドシリコン遮熱型のみ)

# 屋根の塗り替えが 2工程で完了!

上塗り、下塗りの特性を併せ持つ  
ハイブリッド塗料!



2液型シリコンアクリル樹脂系塗料

ハイルーフ

マイルドシリコン

マイルドシリコン 遮熱型

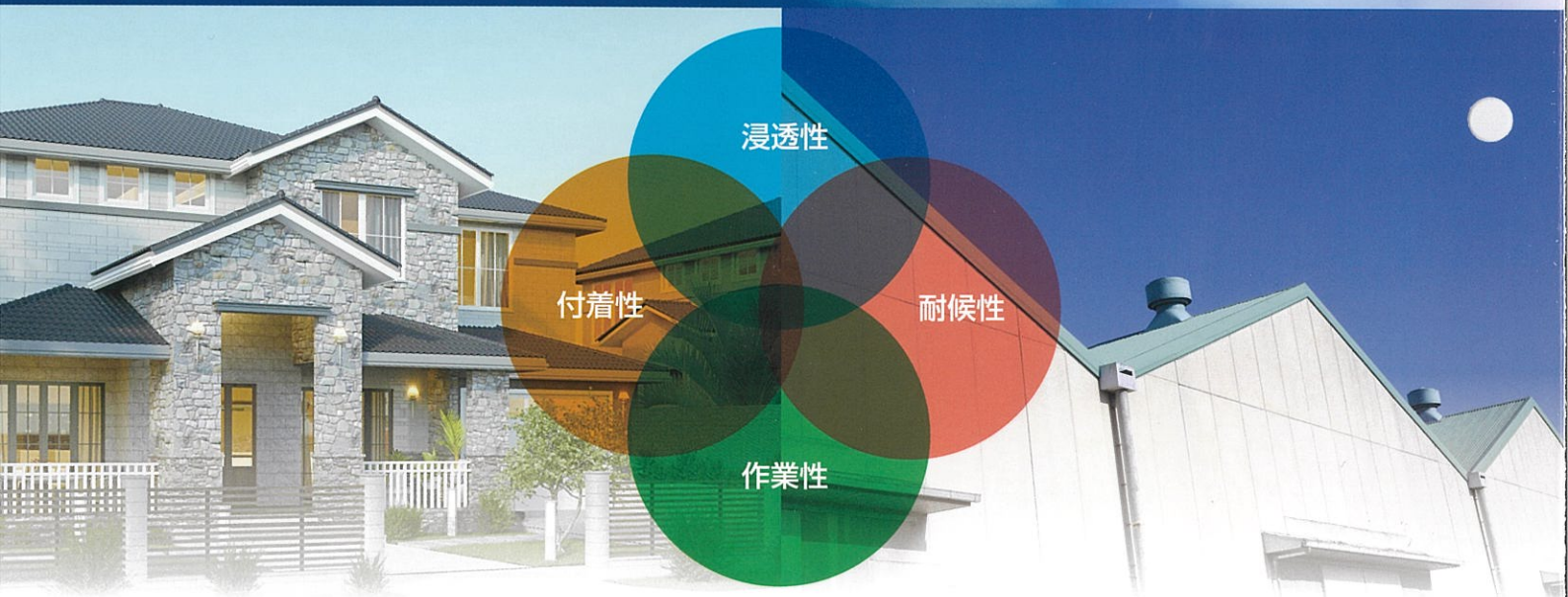
マイルドいぶし

# 特殊なシリコンと樹脂の組合せにより

各種旧塗膜への付着性や瓦素地への浸透性と固着効果を上げ、  
合わせて超耐候性の両立を実現することで

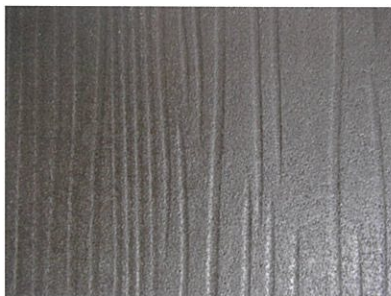
## 通常3工程かかる塗装工程を 2工程で仕上げることができます。

- ◎乾燥が早く作業性が良好です。
- ◎光沢が良く、長期にわたり色艶を維持します。



### 塗装の剥がれ具合での塗装工程 (化粧スレートの場合)

新品



塗膜が多少残っている場合

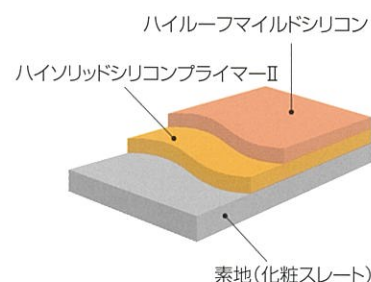
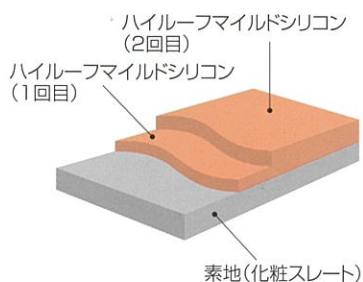


塗膜がほとんど残っていない場合



塗装は  
2工程で完了!

※より耐候性(艶、退色防止)を求める場合、  
スーパークリヤーもしくは艶消しクリヤーを  
ご検討下さい。



## ハイルーフ マイルドシリコン

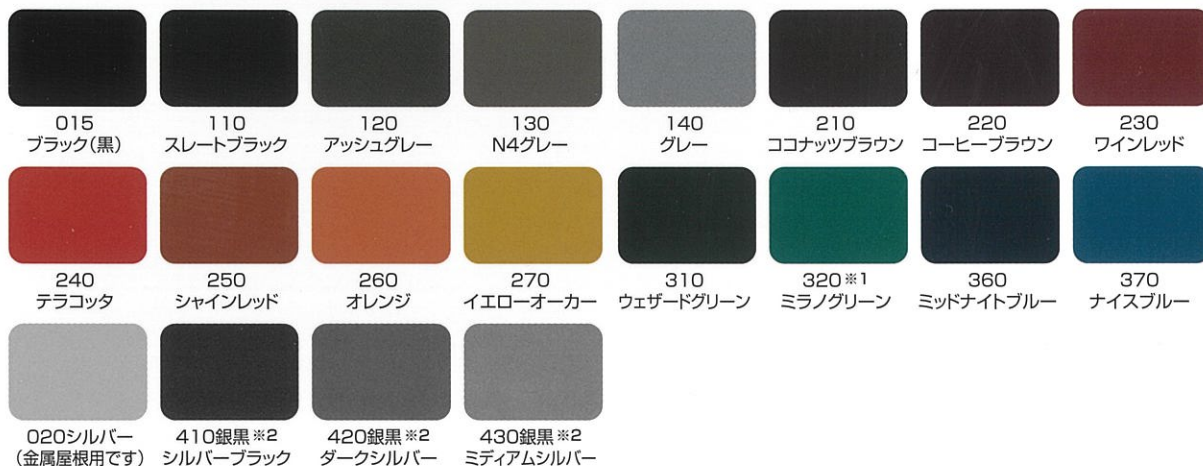
<b>用途</b>	各種化粧スレート (カラーベスト等)	プレスセメント瓦	乾式コンクリート瓦 (モニエル瓦等)	<b>陶器瓦</b> ※但し塗料を塗装しても凍破は防げません	<b>金属屋根</b> ※下塗にハイソリッドシリコンプライマーIIの仕様を推奨します
-----------	-----------------------	----------	-----------------------	-----------------------------------	---

**特長** はけ、ローラー、吹き付けいずれも塗装可能です。  
 ※銀黒系(3色)をはけ、ローラーで塗装の場合、メタリック感が出にくい場合があります。はけは隅とりのみにご使用下さい。(仕上げはローラーで行って下さい。)

注:ノンアスベストの波形スレートは不可

**荷姿** 15kgセット(主剤:12.5kg、硬化剤:2.5kg) 3.6kgセット(主剤:3.0kg、硬化剤:0.6kg) **可使時間 (23℃) 8時間**

### Colors



※さらに高耐候にするためのスーパークリアーと艶消しクリアーがあります。  
 ※色見本は印刷のため色調が異なります。ハイルーフシリーズ 標準色カラーサンプルをご参照下さい。  
 ※金属屋根は防錆効果を上げるため、ヤネタイトマイルド又はハイソリッドシリコンプライマーIIが必要です。  
 ※1 経時での色の変化が他の色より目立ちやすいので、トップコートにスーパークリアーもしくは艶消しクリアーの塗装を推奨します。  
 ※2 メタリック調の仕上りになるため、金属屋根への塗装は不向きです。金属屋根には020シルバーを塗装して下さい。また020シルバーに遮熱型はありません。



## ハイルーフ マイルドいぶし

<b>用途</b>	<b>いぶし瓦</b> ※但し塗料を塗装しても凍破は防げません	<b>陶器瓦</b> ※但し塗料を塗装しても凍破は防げません	注:化粧スレート、乾式コンクリート瓦、プレスセメント瓦には塗装できません。
-----------	------------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------

**特長** ローラー、吹き付けいずれも塗装可能です。  
 ※はけは隅とりのみにご使用下さい。(仕上げはローラーで行って下さい。)

**荷姿** 15kgセット(主剤:12.5kg、硬化剤:2.5kg) 3.6kgセット(主剤:3.0kg、硬化剤:0.6kg) **可使時間 (23℃) 8時間**

### Colors



※色見本は印刷のため色調が異なります。ハイルーフシリーズ 標準色カラーサンプルをご参照下さい。

# ハイルーフマイルドシリコン 遮熱型

<b>用途</b>	各種化粧スレート (カラーベスト等)	プレスセメント瓦	乾式コンクリート瓦 (モニエル瓦等)	<b>陶器瓦</b> ※但し塗料を塗装しても凍破は防げません	<b>金属屋根</b> ※下塗にハイソリッドシリコンプライマーIIの仕様を推奨します
-----------	-----------------------	----------	-----------------------	-----------------------------------	---

**特長**

- 一般塗料と比べ屋根の温度を大幅に低下させます。注:ノンアスベストの波形スレートは不可
- はけ、ローラー、吹き付けいずれも塗装可能です。

※銀黒系(3色)をはけ、ローラーで塗装の場合、メタリック感が出にくい場合があります。はけは隅とりのみにご使用下さい。(仕上げはローラーで行って下さい。)

**荷姿**

15kgセット(主剤:12.5kg、硬化剤:2.5kg)    可使時間(23℃) **8時間**

3.6kgセット(主剤:3.0kg、硬化剤:0.6kg)

色名	515	610	620	630	640	710
色名	ブラック(黒)クール	スレートブラッククール	アッシュグレークール	N4グレークール	グレークール	コナツツブラウンクール
近赤外反射率※1(明度)	41.1 (10.3)	41.0 (16.2)	44.7 (24.7)	45.2 (36.3)	50.3 (48.3)	40.7 (13.2)
日本塗料工業会登録 ☆数 日射侵入比※2	☆ (0.79)	☆ (0.78)	☆ 0.75	☆ (0.73)	☆ (0.66)	☆ (0.79)

色名	720	730	740	750	760	770
色名	コーヒーブラウンクール	ワインレッドクール	テラコッタクール	シャインレッドクール	オレンジクール	イエローカークール
近赤外反射率※1(明度)	41.2 (11.5)	43.6 (19.2)	45.6 (35.4)	45.5 (32.9)	59.7 (49.6)	59.2 (54.3)
日本塗料工業会登録 ☆数 日射侵入比※2	☆ (0.78)	☆ (0.77)	☆ (0.70)	☆ (0.72)	☆☆ 0.58	☆☆ (0.60)

色名	810	820※3	860	870	501	550
色名	ウェザードグリーンクール	ミラノグリーンクール	ミッドナイトブルークール	ナイスブルークール	ホワイトクール	ライトグレークール
近赤外反射率※1(明度)	45.2 (23.3)	43.8 (33.0)	40.3 (16.2)	53.0 (30.2)	84.9 (96.3)	84.6 (86.7)
日本塗料工業会登録 ☆数 日射侵入比※2	☆ (0.76)	☆ (0.75)	☆ (0.79)	☆ (0.71)	☆☆☆ 0.16	☆☆☆ (0.26)

色名	560	570
色名	ライトグリーンクール	ライトブルークール
近赤外反射率※1(明度)	84.0 (86.1)	83.9 (83.6)
日本塗料工業会登録 ☆数 日射侵入比※2	☆☆☆ (0.27)	☆☆☆ (0.30)

(上記数値は測定値であり性能を保証する数値ではありません。)

※1 近赤外反射率はJIS K 5675に準じて試験した結果です。

※2

遮熱塗料

遮熱効果 ★★★★★

日射侵入比(11に対して) 0.8~0.6 0.6~0.4 0.4>

一般社団法人 日本塗料工業会

「遮熱塗料(屋根用)」業界基準

日本塗料工業会では、遮熱効果の基準を満たした塗料を、申請によって「遮熱塗料(屋根用)」として登録しています。

日射侵入比は、太陽熱1に対する遮熱効果(どのくらいの熱が室内側に伝わるか)を、比率で表した数値です。その遮熱効果を★数で区分しています。なお、塗膜品質に関する保証・責任は、塗料製造会社および塗料販売会社が負うものとします。※詳細は、日塗工ホームページでご確認ください。

一般社団法人 日本塗料工業会

※3 経時での色の变化が他の色より目立ちやすいので、トップコートにスーパークリヤーもしくは艶出しクリヤーの塗装を推奨します。

※4 メタリック調の仕上りになるため、金属屋根への塗装は不向きです。

※5 色見本は印刷のため色調が異なります。ハイルーフシリーズ 標準色カラーサンプルをご参照下さい。

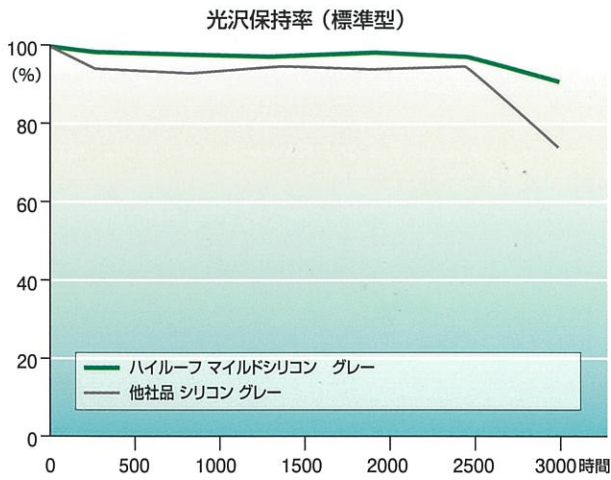
標準色カラーサンプルはマイルドシリコンの色にあわせていますので、遮熱型は同系統の色でも色が異なる場合があります。

※温度・塗付量・膜厚等により、色が異なる場合があります。

※さらに高耐候にするためのスーパークリヤーと艶出しクリヤーがあります。

※金属屋根は防錆効果を上げるため、ヤネタイトマイルド又はハイソリッドシリコンプライマーIIが必要です。

促進耐候性(キセノンによる光沢保持率・色差の比較)



第三者試験機関での屋外暴露試験結果

試験結果報告書			
大同塗料株式会社 豊		一般財団法人 日本塗料試験協会 西支部 支部長 沼津 幹夫 〒572-0004 大阪府豊能郡能勢町文庫2丁目	
依頼No. 117203		計測室 室長 西野 隆	
報告日: 平成26年 7月24日		検査済	
品名	ハイルーフ マイルドシリコン遮熱型 コーシーブタウナール Lot No. 主 剤 12031301 硬化剤 12033501	試料受付日	平成24年 3月14日
製造者	大同塗料株式会社	試料採取日	平成24年 3月13日
依頼者	大同塗料株式会社 大阪府大阪市淀川区三津島北2丁目14番18号	試料採取場所	送付(大同塗料株式会社 技術部)
試験項目	結 果	試料採取者	三宅
		試料数量	0.5kg
		規 格	
		JIS K 5675:2011	
		屋根用高日射反射率塗料 2種 1級	
		低・中湿度領域 セメント系試験板の場合	
屋外暴露耐候性	暴露前 明度 L*値: 1.3	低・中湿度領域: 明度 L*値が 40.0 以上は Pass 40.0	
試験に、割れ、剥がれ及び曇れがなく、試験と見本品との色差の程度を肉眼によって比較し、見本品の色差化と試料の色差化とが大差なく、更に、近赤外線領域の日射反射率保持率の平均が 10.1% である。		JIS K 5675:2011の耐露露日(規定)による。試験に、割れ、剥がれ及び曇れがなく、試験と見本品との色差の程度を肉眼によって比較し、見本品の色差化と試料の色差化とが大差なく、更に、近赤外線領域の日射反射率保持率の平均が 8.0% 以上である。	
光沢保持率 8.4%		光沢保持率が 6.0% 以上で、白濁化の等級が 1 又は 0 である。	
白濁化の等級: 0			

試験場所: 一般財団法人 日本ウエザリングテストセンター 銚子暴露試験場  
暴露期間: 平成24年4月27日から24か月

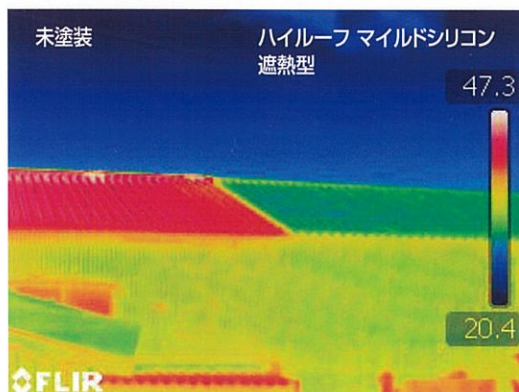
塗膜性能

項目		ハイルーフ マイルドシリコン 標準色	ハイルーフ マイルドシリコン 遮熱型 標準色	規格試験方法
表面乾燥性	23℃	合格	合格	JIS K 5675 7.5
	5℃			
日射反射率 (%)		—	合格	JIS K 5675 7.8
耐おもり落下性		合格	合格	JIS K 5675 7.9
鏡面光沢度 (60度)		80以上	80以上	JIS K 5675 7.10
耐酸性		合格	合格	JIS K 5675 7.11
耐アルカリ性		合格	合格	JIS K 5675 7.12
耐湿潤冷熱繰返し性		合格	合格	JIS K 5675 7.13
促進耐候性(光沢保持率)		80以上	80以上	JIS K 5675 7.14(キセノン2,500時間)
旧塗膜との 付着性	アクリル(溶剤系・水性系)	25/25(分類0)	25/25(分類0)	JIS K 5600 5-6
	アクリルウレタン(溶剤系・水性系)	25/25(分類0)	25/25(分類0)	
	アクリルシリコン(溶剤系・水性系)	25/25(分類0)	25/25(分類0)	
	硬質塩ビ	25/25(分類0)	25/25(分類0)	
	陶器瓦	25/25(分類0)	25/25(分類0)	

※タール系・弱溶剤(塗料用シンナー)に溶ける旧塗膜には塗装不可。軟質塩ビ銅板も塗装できません。

サーモグラフィーによる実際に塗装した屋根表面・裏面の温度状況

未塗装と比較すると  
塗装することで  
屋根表面・裏面温度が  
低下することが  
サーモグラフィーの  
画像から確認することが  
できます。



■ 素材別判定・素地調整基準

	和形(和瓦)	本葺き	S形	F形	ヨーロッパ形
瓦の形状					
全景写真					
形状の有無	有	有	有	有	有
瓦の特長	瓦表面は硬くカッターで傷が付きにくい。瓦裏面はクリームかレンガ色が多い。 釉薬 表面 裏面 塩焼き瓦 表面 裏面			塩焼き瓦・還元瓦(越前瓦・安田瓦は銀黒) 素焼き瓦(無釉薬)は同じ色で艶が無い。	
主要産地	三州瓦(愛知県)、淡路瓦(兵庫県)、菊間瓦(愛媛県)、石州瓦(島根県)等				
素地調整	高圧洗浄機で圧力3~5MPa、水量は13L/分以上。雑巾で(2回以上)拭き取るの也可。				
塗装上の注意	● 洗浄時に滑るので、注意。 ● 洗浄の確認は白い布に水を含ませ、瓦表面をゆっくり擦り、黒・赤等の色が付かない事を確認する。(かび、苔等の分泌物の付着確認試験)				
形状の有無	有	有	有	有	有
瓦の特長	瓦表面は塗膜で、カッターで傷がつく。瓦裏面はセメント色が大半で、布目模様がある。 裏面 裏面拡大写真			木口部分の拡大写真	
	会社名が無い。	布目模様が有る。		凸凹が無い。	
主要産地	鹿児島県~宮城県(仙台)までの主に太平洋側各地区。(高知県・大分県に釉薬塗装した瓦有り。)				
素地調整	高圧洗浄機で圧力8~12MPa、水量は15L/分以上。				
塗装上の注意	● 弱溶剤に溶ける塗膜には塗装不可。 ● 旧塗膜が素地に密着しているか、ガムテープ剥離試験を行って確認してから塗装する。 ● ヴィクトリー(瓦の名前・輸入瓦)は塗装不可。・若干の凹凸のある素地には水系ハイラーフアンダーガードをご使用下さい。				
形状の有無	無し	無し	無し	有	有
瓦の特長	瓦表面は擦ると色粉が極端に付く。瓦裏面は会社名が刻印されている。布目模様が無い。 裏面 裏面拡大写真			木口部分の拡大写真	
		布目が無い。会社名が有る。		凹凸が有る	
				再洗浄必要	
主要産地	モニエル瓦・クボタ洋瓦(全国)、スカンジヤ瓦(山口県・九州・四国)、ハルモリック乾式瓦(静岡県周辺)				
素地調整	高圧洗浄機で圧力15MPa以上、水量は15L/分以上、洗浄ノズル距離30cm以内。				
塗装上の注意	● 1回目の塗装は希釈を多くする。 ● 基材の吸い込みによっては、3回から4回必要な場合があります。				
屋根材の特長	板厚が薄く4mm~10mm以内、1枚が大きい。(横幅が広い)				
	セキスイかわらU 遠くからは和形に見える。		セキスイかわらCITY 遠くからはヨーロッパ形に見える。	カラーベスト(コロニアル) 遠くからはF形に見える。	セキスイかわらBrook 遠くからはヨーロッパ形に見える。
メーカー名	クボタ・松下電工(合併後KMEW)、大和スレート(エタニット)、大建(ナチュラル)等各種				
素地調整	高圧洗浄機で圧力8~10MPa、水量は13L/分以上。				
塗装上の注意	● 塗膜が剥れている場合の1回目の塗装は希釈を多くする。 ● 基材の強度が弱くなっている場合あり、踏み割れ注意。 ● 傷みのひどい"セキスイかわらU"は塗装しないで下さい。				
形状の有無	有	有	有	有	無し
瓦の特長	瓦表面は硬くカッターで傷が付く。新しい瓦は両面同じ銀箔色で艶が無い。 表面 裏面			古くなれば黒く焼けた粘土が出て銀箔と斑模様になっている。	
主要産地	三州瓦(愛知県)、淡路瓦(兵庫県)、菊間瓦(愛媛県)等 以前は全国各地にあった。				
素地調整	高圧洗浄機で圧力3~5MPa、水量は13L/分以上。				
塗装上の注意	● 洗浄時に水分を含むと強度が弱くなるので、踏み割れ注意。 ● 洗浄の確認は白い布に水を含ませ、瓦表面をゆっくり擦り、黒・赤等色が付かない事を確認する。(かび、苔等分泌物の付着確認)				
塗装できない素材	自然石(玄昌石)、アスファルトシングル(タール系屋根材)、波形スレート(ノンアスベストタイプ)、弱溶剤に溶ける旧塗膜がある屋根材等。別の塗料で塗装可能な素材(屋根材)もあるため、塗装方法・見分け方についてはお問い合わせ下さい。				

## ハイルーフマイルドシリコン・ハイルーフマイルドシリコン 遮熱型 標準塗装仕様

■未塗装及び塗替 化粧スレート(カラーベスト等) プレスメント瓦 乾式コンクリート瓦(モニエル瓦、クボタ洋瓦等) 陶器瓦 金属屋根

工程	品名 (配合比)	希釈剤 希釈率(質量%)	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)
1	化粧スレート(カラーベスト等)	●表面のごみ、泥、苔、かび及び劣化した表層、チョーキング層を高圧水洗で除去し清浄にする。 水洗後は1日以上おき、十分に乾燥させる。 ●プレスメント瓦で若干の凹凸がある場合は水系ハイルーフアンダーガードをご使用下さい。	1	0.13~0.15	はけ ローラー エアレス	2時間以上
	プレスメント瓦					
	乾式コンクリート瓦 (モニエル瓦、クボタ洋瓦等)					
	陶器瓦					
	金属屋根	●遊離塗膜や不安定な塗膜はディスクサンダーなどの電動工具、ワイヤーブラシ、スクレーパーなどの手工具を併用して除去し、活膜だけを残す。金属素地が出た場合は必ずヤネタイトマイルドを塗装する。 ●発錆している場合は、同様に錆を除去し、必ずヤネタイトマイルドを塗装する。 ●ごみ、ほこり、チョーキング粉などを高圧水洗で除去し清浄にする。 ●塗付量は上塗1回目、2回目とも0.10~0.14kg/m <sup>2</sup> /回となります。				
2	ハイルーフマイルドシリコン 及び 遮熱型 (主剤:硬化剤=5:1)	塗料用シンナー 0~10	1	0.13~0.15	はけ ローラー エアレス	2時間以上
3	ハイルーフマイルドシリコン 及び 遮熱型 (主剤:硬化剤=5:1)	塗料用シンナー 0~10	1	0.13~0.15	はけ ローラー エアレス	

- 素地の種類、劣化の状態によって塗付量は増減します。  
●カラーベスト(コロニアル)の重なり部分が塗料で詰まっている箇所は縁切りを行う。  
●旧塗膜が部分的に剥がれている場合は、タッチアップが必要な場合があります。  
●メタリックは塗装方法・膜厚・乾燥条件によって仕上がり色が若干異なる場合があります。  
●乾式コンクリート瓦は素地の傷み具合によって塗装面積が少なくなる(半減)場合があります。  
3回~4回塗装が必要な場合があります。
- 初めての塗替の場合、乾式コンクリート瓦の1回目の塗装時の希釈は若干多めにして下さい。  
●詳細は仕様書で確認して下さい。  
●苔、カビが多い場合は薬剤(コートサイド下地処理剤)で処理して下さい。  
●プレスメント瓦や化粧スレートの素地の痛みが酷い時、金属屋根で錆の発生が少ない時は、ハイソリッドシリコンプライマーIIの使用も検討して下さい。  
●金属素地に塗装する場合は、ヤネタイトマイルド又は、ハイソリッドシリコンプライマーIIを塗装して下さい。

## ●クワイヤー仕上げ より長期間の艶の保持、退色防止効果があります。

4	艶消し 仕上げ	ハイルーフマイルドシリコン 艶消しクワイヤー (主剤:硬化剤=5:1)	塗料用シンナー 10~20	1	0.10~0.13	はけ ローラー エアレス	
4	高級 仕上げ	ハイルーフマイルドシリコン スーパークワイヤー (主剤:硬化剤=5:1)	塗料用シンナー 0~10	1	0.10~0.13	はけ ローラー エアレス	

- 厚く塗らないで下さい。  
●艶消しクワイヤー及びスーパークワイヤーを塗装するときは、ハケ返しの塗装はしないで下さい。(なでる様に塗装のこと)
- 上塗り塗装後16時間以上してから塗装して下さい。  
●艶消しクワイヤーは3分艶の仕上げです。

## ハイルーフマイルドいぶし 標準塗装仕様

■未塗装 いぶし瓦 陶器瓦

工程	品名 (配合比)	希釈剤 希釈率(質量%)	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	
1	素地調整	●表面のごみ、泥、苔、かび及び劣化した表層を高圧水洗(3~5MPa)で除去し清浄にする。 水洗後は1日以上おき、十分に乾燥させる。(洗浄のときは高圧にしないで下さい。雨漏りする場合があります。)					
2	上塗 (1回目)	ハイルーフマイルドいぶし (主剤:硬化剤=5:1)	塗料用シンナー 0~10	1	0.07~0.09	ローラー エアレス	2時間以上
3	上塗 (2回目)	ハイルーフマイルドいぶし (主剤:硬化剤=5:1)	塗料用シンナー 0~10	1	0.07~0.09	ローラー エアレス	

- 漆喰の部分は塗料で塗装しないで下さい。  
●メタリックは塗装方法・膜厚・乾燥条件によって仕上がり色が若干異なる場合があります。
- 塀瓦の上には塗装しないで下さい  
(水分の通り道になる為、膨れ、剥がれが起きる可能性があります)。

## ◎注意事項

- 希釈シンナーは塗料用シンナー以外、使用しないで下さい。
- エアレス塗装の場合はホース内の水分・強溶剤等を完全に除去して下さい。
- 一度に厚塗りをしないで下さい。発泡、リフティングが発生する場合があります。
- 高所作業となりますので、安全面の対策は万全を期し、ヘルメット、安全ベルトなどを着用して下さい。
- 洗浄は屋根棟部から軒先に向けて行って下さい。逆洗浄は水漏れの原因となりますのでご注意ください。
- 汚れのひどい場合は、デッキブラシ・タワシなども併用し、汚れを完全に除去して下さい。劣化の著しい瓦は、差替え等をおこなって下さい。
- カラーベストの重なり部分に水がないことを乾燥の目安にしてください。
- 重なり部分に塗料が詰まっていると雨漏りの原因となりますので、必ず縁切りを行って下さい。
- 秋季のような昼と夜の温度差が激しい時期には結露によるつや引け現象が起こる可能性があります。
- 夜露の降る恐れのある場合は、2~3時間前に塗装を終了して下さい。
- 下記のような場合は原則として塗装を避けて下さい。  
①気温5℃以下、相対湿度85%以上の時  
②被塗物が異常に高温の時  
③朝夕の結露時期  
④降雪雨時、またはその恐れのある時  
⑤強風下、塵埃などが付着する恐れのある時  
⑥素地のアルカリ度がpH9以上の時
- 既存塗膜は弱溶剤(塗料用シンナー)に溶解せず、素地にしっかり密着している事。

- 塗付量が少ないと、耐候性に大きく影響しますので塗付量は厳守して下さい。  
●素地の劣化が進み吸込みが多い場合は耐候性が低下しますので、ハイソリッドシリコンプライマーIIをご使用下さい。  
●硬化剤を混合していない塗料の半端品は蓋を閉め保存後、なるべく早く使用して下さい。主剤・硬化剤共に単独でも湿気でゲル化します。  
●長期在庫は塗料が湿気を吸湿し増粘する傾向がありますので、必要な数量だけご注文下さい。  
●遮熱型は缶中での色浮きがあるため、必ずよく攪拌してからご使用下さい。

塗膜の剥がれた古い化粧スレートなどの吸い込みが激しい素地のときに上塗りの艶をより出したい場合や、防錆性<sup>※1</sup>を必要とする場合の屋根専用プライマー。

# ハイソリッドシリコンプライマーⅡ

※1 イージーワン  
(1液エポキシ樹脂系さび止め塗料)相当

用途	化粧スレート (カラーベスト等)	プレスセメント瓦	乾式コンクリート瓦 (モニエル瓦等)	金属屋根 <sup>※2</sup>	陶器瓦 ※但し塗料を塗装しても凍破は防げません
特長	はけ、ローラー、吹き付けいずれも塗装可能です。				
荷姿	15kgセット(主剤:12.5kg、硬化剤:2.5kg)		可使時間 (23℃)	5時間	

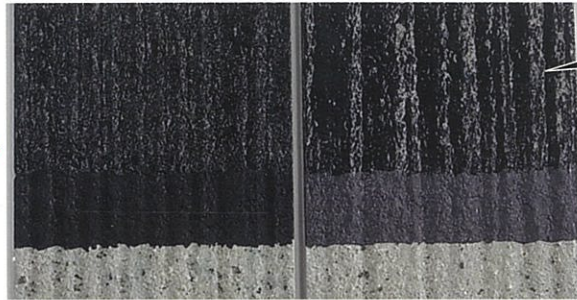
Colors

※色見本は印刷のため色調が異なります。

アンダーアッシュグレー	アンダーグレー	アンダーブラウン	アンダーピーコックブルー	アンダーアッシュグレー 遮熱型	アンダーグレー 遮熱型	アンダー85グレー 遮熱型	アンダーブラウン 遮熱型	アンダーピーコックブルー 遮熱型
-------------	---------	----------	--------------	--------------------	----------------	------------------	-----------------	---------------------

## 塗膜の剥がれた古い化粧スレートに塗装したときの仕上がり

ハイルーフマイルドシリコン 2回塗り  
(110 スレートブラック)



同じ工程数でさらに艶が出る

ハイソリッドシリコンプライマーⅡ 1回塗り  
(アンダーアッシュグレー)  
ハイルーフマイルドシリコン 1回塗り  
(110 スレートブラック)

## 標準塗装仕様(上塗がハイルーフマイルドシリコンの場合)

■未塗装及び塗替

金属屋根    化粧スレート    プレスセメント瓦    乾式コンクリート瓦

工程	品名 (配合比)	希釈剤 希釈率(質量%)	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	
1	素地調整	<p>&lt;未塗装の場合&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ、ほこり、チョーキング粉、劣化した表層などを高圧水洗で除去し清浄にする。</li> <li>発錆している部分はディスクサンダーやワイヤーブラシなどを用いて錆を除去する。</li> </ul> <p>&lt;塗替えの場合&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ、埃、チョーキング粉、遊離塗膜や不安定な塗膜、劣化した表層などを高圧水洗で除去し清浄にする。</li> <li>遊離塗膜や不安定な塗膜はディスクサンダーやワイヤーブラシなどを併用して除去し、活膜だけを残す。発錆している部分は同様に錆を除去する。</li> </ul>					
2	下塗	ハイソリッド シリコンプライマーⅡ (主剤:硬化剤=5:1)	塗料用シンナー 5~15	1	0.13~0.17	はけ ローラー エアレス	16時間以上 7日以内
3	上塗	ハイルーフマイルドシリコン (主剤:硬化剤=5:1)	塗料用シンナー 0~10	1	0.13~0.15	はけ ローラー エアレス	-

※素地の吸い込み又は、痛み具合によって塗付量が多くなる場合があります。

### ◎注意事項

- ハイソリッドシリコンプライマーⅡは主剤と硬化剤を調合した場合、5時間以内(23℃)に使い切ってください。
- ハイルーフマイルドシリコン上塗は主剤と硬化剤を混合した場合、8時間以内(23℃)に使い切ってください。
- 各種金属(カラー鋼板、亜鉛鉄板、ブリキ、ガルバリウム、フッ素鋼板等)に塗装できます。但し、「艶消」のフッ素鋼板には試験塗装が必要です。
- 塩ビ鋼板には塗装できません。
- 各種旧塗膜(アクリル、ウレタン、シリコン、フッ素、水性)に塗装できます。
- 旧塗膜が部分的に剥がれており、素地が酷く傷んでいる場合は、タッチアップが必要な場合があります。
- 化粧スレート・プレスセメント瓦・乾式コンクリート瓦の表層にある脆弱層は高圧水性で除去して下さい。残っていると剥離等が発生する恐れがあります。
- 素地の吸い込み又は、酷く傷んでいる場合は、上塗を2~3回塗装する必要がある場合があります。
- ハイソリッドシリコンプライマーⅡは素地の吸い込み又は、痛み具合によって塗付量が多くなる場合があります。
- 陶器瓦、いぶし瓦、波型スレート(ノンアスベストタイプ)には塗装ができません。
- 弱溶剤に溶ける塗膜には、塗装できません。
- 軟質塩ビ鋼板には塗装できません。
- カラーベスト(コロニアル)の重なり部分が塗料で詰まっている箇所は緑切りを行って下さい。
- 苔、カビが多い場合は薬剤(コートサイド下地処理剤)で処理して下さい。
- 使った塗料の半端品は蓋を閉め保存後、なるべく早く使用して下さい。塗料・硬化剤共に湿気でゲル化します。
- 夜露の降る恐れのある場合は、2~3時間前に塗装を終了して下さい。
- 下記のような場合は原則として塗装を避けて下さい。
  - 気温5℃以下、相対湿度85%以上の時
  - 被塗物が異常に高温の時
  - 降雪雨時、またはその恐れのある時
  - 強風下、塵埃などが付着する恐れのある時
  - 素地のアルカリ度がpH9以上の時

SINCE 1932.  
**大同塗料株式会社**  
ISO 9001 (滋賀工場)



製品の規格及び仕様は改良等のため予告なく変更する場合があります。

本社 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号 TEL.06(6308)6281 FAX.06(6308)3512  
ホームページアドレス <https://www.daido-toryo.co.jp>

50 -1199

22.4.23版10,000 L0